

かなえるレター

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都

京都市 70歳代女性 Aさま
「パッチワーク」

ご利用者より

刺繍、パッチワーク教室に通っていた時に作り始めました。かなり縫い目が細かくて丁寧に作ったので、周りの人にとって仕上がるのは遅かったですが、長年かけて完成することが出来ました。白い生地のところも、すべての女性の絵が異なるように刺繍しました。(Aさま)

骨折後手術をされて、作りかけで止まっていたパッチワーク・刺繍を再開されました。今もリハビリをがんばっておられます。(理学療法士 小山)

担当スタッフ

かなえるリハビリ訪問看護ステーション(大阪)

ご利用者数 H28/10/20 時点
介護保険 1030名 その他 8名
医療保険 349名 計1387名 社員数 105名

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都(京都)

ご利用者数 H28/10/20 時点
介護保険 237名 その他 4名
医療保険 22名 計263名 社員数 20名

ご利用者からの投稿募集

かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。俳句、川柳、随筆、絵手紙など作品の種類は問いません。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまで。

かなえるリハビリ
訪問看護ステーション都
〒604-8371
京都市中京区西ノ京池ノ内町19-11
御池KSビル2階202号室
tel 075-803-0536
fax 075-803-0537

e-mail : info@kanaerulink.co.jp

＜職種＞

看護師 5名
理学療法士 9名
作業療法士 2名
言語聴覚士 2名
事務員 2名

ご紹介：70歳代女性のSさま。今年1月に脊髄梗塞を発症され、両足の運動障害と感覚障害を患われました。半年以上にも及ぶ回復期病棟でのリハビリに取り組み、ご自宅に復帰されました。退院後、当事業所からは理学療法士と作業療法士が週に3回訪問させていただいております。

～ご本人の思いをひとつひとつ紡ぐ～

「バスを使って病院に行きたい」

残暑が厳しい9月…車椅子で市バスを利用した外出練習を実施しました。「実際にやってみるとちょっとした坂道だったり、段差だったり気をつけんとアカン所は多いね」とSさま。翌週にはお一人で外出することができるようになりました。



「今はシャワーやけど湯船に入りたい」

夏に取り組み始めた入浴練習では一緒に手すりの位置を確認させていただき、練習を重ねました。きっと本号が発行される頃にはゆっくりとご自宅での入浴を楽しんでおられるのではないのでしょうか。

「昔から動くことが大好きやった」

病前は山登りやジム通い、そして数々のスポーツ、様々な活動に積極的取り組まれていたと、Sさまは話してくださりました。そんなSさまだからこそリハビリにも懸命に取り組んでくださるのだと思います。



「自宅では歩行器でしっかり歩きたいなあ」「植物園とか動物園に行きたいんやけどな」、「また山に登れたらいいな」…これからもSさまの思いのひとつひとつを紡ぎ、Sさまらしい生活が実現できればと心から思います。(理学療法士 中野、作業療法士 芝田)

かなえる★ジョナくん劇場

作者紹介ジョナさま：先天性・進行性の障がいを抱えながら漫画家を目指し活動されている23歳の青年です。当事業所からは看護師・理学療法士が訪問させて頂いています。

連載！＜第七回＞

①

②

③

④

第5話「映画編」

先日、映画館で黒澤明の「七人の侍」を観てきました。本編からは脱線します★

大変恐縮ですが、前回に引き続き

七人の侍

©東宝

以前見た「用心棒」が大変面白かったので

「七人の侍」でも僕が特に注目していたのは主演の一人、三船敏郎でした

用心棒

©東宝

しかし「用心棒」と「七人の侍」では三船敏郎の雰囲気、結構違うので、それが三船敏郎か認識するのに少し時間がかかりましたね



どれ!? どれ!? どれ!?

そして何と言ってもその3時間半という上映時間。ずっと車椅子に座っているとあれです。お尻が爆発しそうでした。



あっく?

ジョナさまの漫画は、40、50年代の映画の登場人物をモチーフにして描かれています。

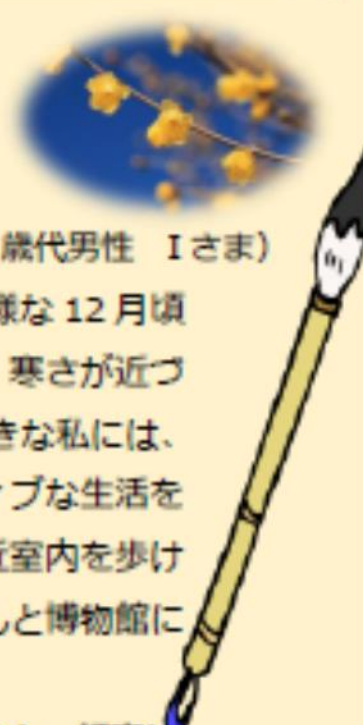
かなえる人生訓 ~今回は特別・俳句編!~

「臘梅(ろうばい)を 映し玲瓏(れいろう) 月渡る」

(中京区 70 歳代男性 Iさま)

これは、Iさまが脳梗塞を発症される前に詠まれた俳句です。臘梅は写真の様な12月頃に咲く鈍い半透明な黄色の花、玲瓏は澄み切った(空気)を意味します。うーん、寒さが近づいて、澄み切った冬の夜。でも、空気がおいしい(私の主観ですが…)。冬が好きな私には、待ち遠しい景色を想像させてくれる一句でした。ハイキングや登山などアクティブな生活を送られており、その時の情景を俳句にすることが趣味だったとのこと。最近室内を歩けるようになられたIさま、「また外で歩きたい。そして俳句も作りたい」「奥さんと博物館に行けるように」と意欲的です。近々、新しい俳句も誕生する予感です。

(理学療法士 釘宮)



リハビリ

まめ知識

フットケアの重要性(後編)

京都事業所 看護師
(フットケアスペシャリスト)
高木 佳名子



~足の健康保持に効果的なトレーニング~

足は心臓から最も遠く、どうしても血液循環が悪くなります。足指の運動をすることや、歩くことは血液を運ぶポンプの役割となり、全身の血液循環を円滑に行うためのサポートをするので、足は第2の心臓ともいわれています。適当なトレーニングは、足の健康を保持し、全身の健康を保持するのに役立ちます。

1. 足指でタオルをたぐりよせる



椅子やベッドなどに腰を掛けて、足指で床に広げたタオルをたぐりよせる運動です。かかとを床につけて浮かさないこと、足指をしっかり伸ばしてタオルをつかむようにすることがポイントです。

2. 足指ジャンケン

足指をすべて曲げて閉じる(グー)、親指と第2指を上下に開く(チョキ)、足指をすべて伸ばして開く(パー)運動です。



3 ゴルフボールにぎり

ゴルフボールで足裏の前足部をもんだり、足指でゴルフボールをつかんだりすると、足裏や指の関節がゆるみ、指の筋力も鍛えられます。



- ①ゴルフボールを足裏の前方部に当て、コロコロと転がす(1~3分程度)
- ②ゴルフボールを足の指でつかみ、ギュッと握って持ち上げ離す(5回程度)

かなえる TOPIC

毎年恒例・フォローアップ研修！

去る 2016 年 10 月 6 日に、事業所にてフォローアップ研修が行われました。

フォローアップ研修とは、入社して 1 年未満の新入職員に対して、社会人としての心構えや業務の見直しを再確認する場として、毎年弊社で実施されている研修です。京都事業所では看護師、理学療法士、作業療法士、事務員の 5 名が参加しました。

研修では、社会人に必要な自覚や訪問業務におけるマニュアルの再確認を行い、日々の業務の足元点検が行われました。研修を通して、マニュアルの認識が不十分などところがあることに気づき、不測の事態にも冷静に対応し、



ご利用者の安全を守ることや、関係各所に迷惑をかけないようにする為にも、わからないことがあれば常にマニュアルでの確認や上司への報告・連絡・相談を怠らないようにしようと思いました。また、訪問業務を行う上で、ご利用者・ご家族と信頼関係を構築することが大切であり、その為に、時間を守る・約束を守る・仕事に責任を持つなど、社会人としての自覚をしっかりと持ちたいとあらためて思いました。



入社して早半年が過ぎようとしています。業務に慣れ効率が良くなったこともあります。日々の対応がおろそかにならないよう、今回の研修を機に、再度気を引き締めてより良いリハビリを提供できるように努めていきます。今度とも、よろしくお願い致します。

理学療法士 中野 孝之

編集後記

秋も深まり、事務所の近く二条城あたりの紅葉もとても気持ちよさそうに風に吹かれています。いよいよ本格的な冬も間近、皆さま体調などくずされていませんか。

さて、2016 年のかなえるレターは今回が最後となりました。2016 年は皆さまにとってどんな一年だったでしょうか。今年は春に新しい職員が入职し、夏には今までよりも少し広くなった事務所に引越し、とわたしたちも少しずつ変化があった一年でもありました。今年一年ご利用者やご家族・関係者の皆さまには大変お世話になりました。また新しい一年も地域の皆さまに寄り添っていきけるよう、職員一同邁進してまいります。

